

東海

No.3174

18. 2. 8

国土交通労働組合
東海建設支部
教育宣伝部

問題ある面談(打診)
は組合に相談を!

WLB実現でベテラン職員・事情ある職員の労働条件改善を! 通勤手当、寒冷地手当の改善、大幅増員、ポスト確保を!

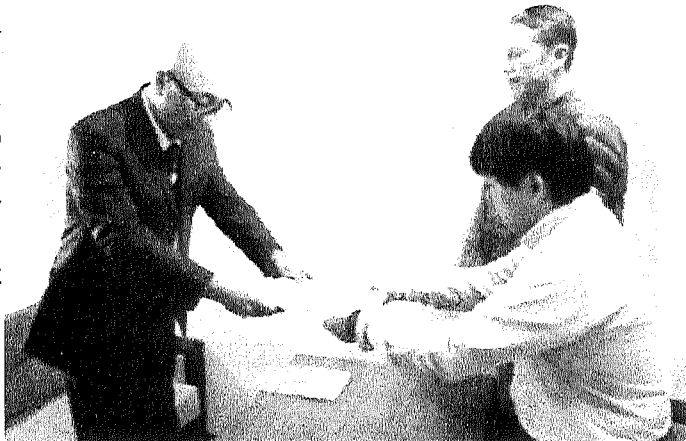
国土交通労働組合東海建設支部の各県協、電通連絡会は、四月期人事に向けた独自署名を一月十八日、十九日の両日で厚生課長に提出し、職場の要求を伝えました。本号では、一八日に提出した静岡、岐阜、長野県協の署名提出行動について報告します。

静岡県協協議会

職員の安全管理徹底

空ポスト解消、県内事務所の増員、新幹線通勤手当の満額支給を要求

一時から三〇分間、静岡県協の署名提出行動を実施しました。県協から二名が参加し、静岡国道分会、浜



静岡県協の署名提出

松分会から集まった署名七九筆分を提出しました。

署名提出後、浜松分会の山田さんと桐原さんが、代表して当局に要求を伝えました。

職員の安全管理徹底を!

長島ダムでの職員転落事故を受けて、工事業者のそれにも劣る職員の安全管理について、徹底するよう追及するとともに、電気通信職員の増員や、福利厚生充実(まかない復活)などを求めました。

空ポストの解消を!

静岡県内で八〇を超える



空ポストがある一方、名古屋圏からの遠距離通勤や単身赴任が多く、地域防災人事や静岡県内職員の処遇改善の支障となつている実態を説明し、自治体職員との交流などによる職員構成の平準化を提案しました。

県内事務所増員を!

伊豆縦貫自動車道や三遠南信自動車道の整備等で県内事務所は大変忙しくなつている現状から、職員の増員を求めました。

岐阜県協協議会

遠隔事務所へ処遇改善ポスト確保、担当者育成のための増員を要求

一三時三〇分から三〇分間、岐阜県の署名提出行動を実施しました。県協からは二名が参加し、岐阜国道分会から集まった署名五五筆分を提出しました。

署名提出後、岐阜国の加藤さんと中舎さんが、代表して当局に要請を伝えました。

遠隔事務所にも処遇改善ポストを!

県内でも遠隔地である高

新幹線通勤手当満額支給を!

片道だけの新幹線特急料金支給により持ち出しが多い新幹線通勤手当の問題については、静岡県職員には支払われていることから、満額支給するよう追及しました。

局長の姿勢に見合った改善を!

対応した松葉厚生課長は、防災に力を入れているという局長の姿勢を強調したものの、具体的な前進が見込める回答はしませんでした。



責任ある危機管理体制の確保で信頼される国土交通行政を! かわへの超過勤務削減は違法行為 増員で要員確保を!

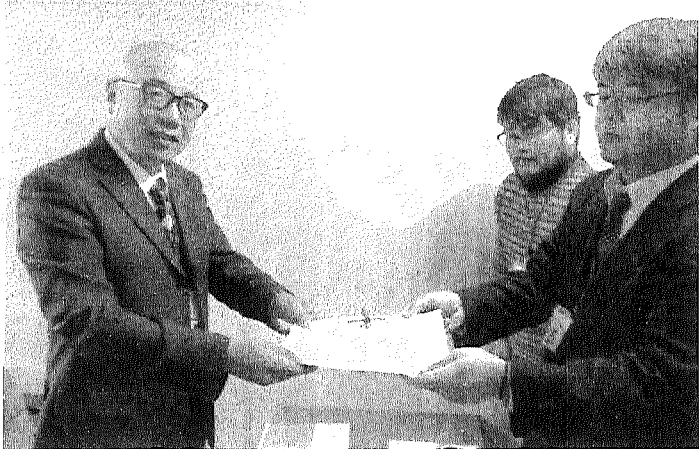
山国道では、昇格のためには、域外への単身赴任を要することや、他事務所から高山に来る場合も単身赴任が多く、防災上問題があることを説明し、高山にいても上位級へ昇格出来るよう、処遇改善ポストを設置するよう要求しました。〈裏へ〉

**職員減で危機管理体制崩壊
増員で職員確保を！**

高山国道においては、雨量規制、雪氷対応の要員には事務系職員も含めないと体制が組めない状況を指摘し、岐阜国道への契約事務の集約等で高山勤務の職員が削減され、危機管理体制が崩壊することがないよう高山国道事務所の職員確保を要求しました。

新設組織の説明をせよ

新丸山ダムに新設される組織がどのように運用するのか分からないことから、きちんと説明するよう追及しました。



岐阜県協の署名提出

**超勤未申請
うわべの超勤縮減では？**

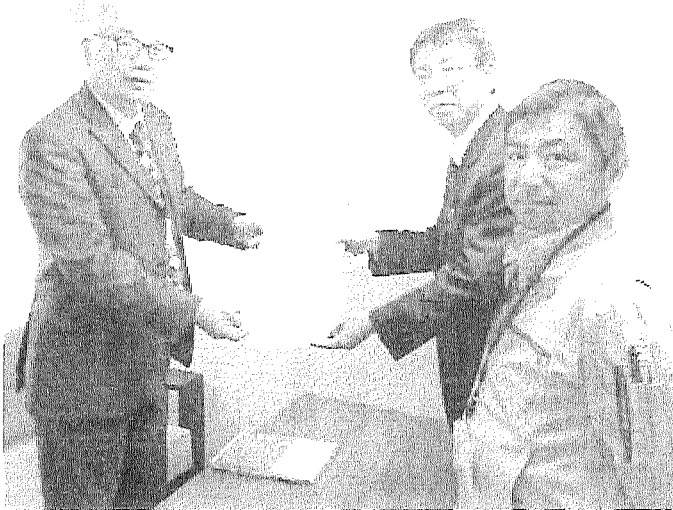
各事務所それぞれで人が足りないが、岐阜国道は特に超勤勤務が多く、力エール会議など超勤縮減を目指した活動等で、超勤勤務時間が一〇〇時間から八〇時間に縮減したといっても、業務は減らず人は増えない。結局、超勤申告を抑制しているだけではないかと追及しました。

**みんな手一杯
育成の前に増員を！**

仕事は煩雑化し、みんな

長野県協議会

ブロック内昇任、内部昇任の實現、地元採用・育成で
地域防災人事実現、寒冷地手当の支給を要求



長野県協の署名提出

手一杯、新採も三年位で局、出張所係長に上がらないといけないというが、部下に仕事を教える時間がない。部下も係長も仕事を覚えられないでいる状況を訴え、「一人でも多く」では一向に人は増えず、「一〇〇人増やす」という勢いで増員に取り組むよう追及しました。

**聞き置くだけ？
改善の手応えなし**

対応した松葉厚生課長は聞き置く姿勢に終始しました。

**ブロック内昇任、
内部昇任の實現を！**

地域内には、四つの事務所所があるが、河川、ダム、道路とそれぞれ違う職種の事務所であるため、(特に技術系)職員は、県外に昇任ポストを探し、単身赴任になってしまいう状況、また、戻ってくるポストが無いことから、ブロック内での昇任をより多く実現することを要求しました。更に、ブロック内の官署が点在していることから、域内でも長時間通勤となる場合が多く、内部昇任の実現についても要求しました。

**地元出身職員の
採用・育成を！**

地元出身職員が少なく、担当や若い係長は、県外出身者で後々長野を離れる人が多い。管理職も単身赴任が多いため、土地勘もなく地域防災の対応が難しい状況を説明し、地域防災の観点から、地元職員の採用と配置、若い内から伊那谷を拠点としたいと思う職員の育成を積極的に行うよう要求しました。

寒冷地手当の支給を！

飯田国道では、雪寒事業を行っているにもかかわらず



ず「寒冷地手当」が付かず、実際寒いし、雪も降る実情から、寒冷地手当の支給対象とするよう要求しました。

実情知るも回答なし

対応した松葉厚生課長からは、天上で副所長だった経験から「伊那谷の状況については、私もそれなりに把握している」と述べましたが、具体的な対応についての回答はありませんでした。